

還る家とともに かえるいえ

生と老いと病と死と、
喜びも悲しみも、ともに歩みたい……
誰もがいつでも
心の深呼吸ができる場所



〒244-0002 横浜市戸塚区矢部町1 2 5

電話 045-881-0348 FAX 045-881-0379

E-mail: mail@zenryouji.jp http://www.zenryouji.jp

発行責任 善了寺 還る家とともに

田んぼパワーアップ!



今年も稲を植えました！成宮造園の皆さんが作ってくださった田んぼに、渡井敏子さんから頂いたもち米の稲を、皆で手分けしてどんどん植えていきます。去年よりパワーアップした田んぼで、ますますおいしいお米ができる予定です！！



よしこさんも
ミニ田んぼに
植えてピース★



ボランティアで参加して下さった小山さん！暑い中ありがとうございました！

かっぱ寿司でランチ♪

送迎車でかっぱ寿司の前を通りかかると「ここでお寿司を食べたいネエ…」と誰かがボツリ。そこである日のお昼にかっぱ寿司でランチをしました！なかにはケーキやメロンなどデザートのお皿で一杯のテーブルも…！？

それぞれの身体にあった テーブルでお食事を…

背の低いちゃぶ台や、高めのテーブル。それぞれの身体にあった高さで食事をすることは大事なことです。このたび、新たにテーブルが登場し、テーブルとイスの足を切って小柄な方にピッタリの高さになりました。デイサービスの専属大工さん、中嶋功さんご夫妻に今回もお世話になりました！！



あのお皿をとって頂戴！



私にぴったり。姿勢が楽だわ～！

自然の声に耳傾けて

4, 5日前でした。携帯が鳴って、見てみると時々利用している自然食品のお店からで、デイでも昼食のお料理に使う材料を調達しているお店です。何でも遺伝子組み換え作物が認可されようとしているんだとか。今日本が被災から復興しようと頑張っているこのどさくさにまぎれて、アメリカの会社が日本に圧力をかけているということでした。ひえ～まったくもって情けない！ 人間の飽くなき欲望に、待った！！ 地震は確かに避けられないことだったかもしれないけれど、原発は人災だと思うのです。自然の声を無視し続けた結果。知れた頭しか持ち合わせない私でも、このたびのことで随分謙虚になりました。何でわざわざそんなもの食べなくちゃいけないのでしょうか？ 昨年お寺の畑ではいろいろな方のご協力で、無農薬の大豆を育てていただいてデイの皆さんと一緒に頂くことができました。野菜やお米もたくさん実りました。今年は、原発による放射能の危険でお寺の畑も気がかりな状況です。大切な大地を私たち自ら汚してしまったのでは・・・反省しきりです。長くかかるであろうこれから。この思いを忘れずにいたいと思います。自然の声に耳傾けながら、感謝と恩返しの気持ちで日々暮らしていきたいと思っています。

山村 和子



編集後記

「お母さんの子供の頃にはパソコンもゲームもなかったんだからねっ!」「今は時代が違うんだよっ!」私と長男の会話。『時代が違う』平成生まれの子を育てながら、大正生まれの方達と毎日関わっている、昭和生まれの私。この90年の時代の中で違ってきたものは山とある。その中で、しみじみと思う事の一つに「おかげさまで…」という言葉がある。大正生まれの人からは頻りに聞く。昭和生まれの私は、ぎこちなく使ってみる。平成生まれの子どもから聞いたことはない。「おかげさまで…」と言われて「えっ?なんで?私何かしてあげた?」と思う事が度々ある。私は直接的に支援された時に”おかげさま”を使う感覚を持っていたが、何か違うようだ。日頃から目に見えないものにも関わりを感じ、感謝して生きているからこそ、このタイミングで”おかげさま”と出るのだろうか。最近やっと分かってきた気がする。平成生まれの子どもから“おかげさま”が、聞こえてきた時、やっと、私も目に見えないものにも感謝できるようになっているのかもしれない。

坊

歯ブラシ募集中!!

未使用の歯ブラシがご自宅に眠っていませんか? 口腔ケアは誤嚥性肺炎などの病気の予防にもなります。歯ブラシを持参し忘れた方でも歯磨きできるよう、持ち寄りのご協力をお願いいたします。(未使用のものをお願いします)



ボランティアさん

ありがとう♡

中嶋 芳江	秦野かねよ	安藤 信子	竹中 秀子
西岡美都里	寺島 美代	渡井 敏子	朝倉好子
別府与志子	濱崎 芳子	市野和歌子	弓削 福子
矢口 和子	秦野 雅子	飯島 慶子	美濃口静子
米村 正男	小寺 久枝	江田 峯子	中島 雄子
長井万佐江	村井ヒテ子	江尻 伸子	鳥巢スエ子
牛島 寛子	橋本 淑子	長澤チヨ子	福寿貴美恵
犬塚 照夫	松村 節子	秦野 宣子	山本 保基
大金スエ子	松田 良子	梅本 忠男	小林 ミエ
大森英理亜	大塚 節子	椎貝 浩子	
林 ヨシ子	山下トキエ	関川美壽子	

敬称略

三好春樹の生活リハビリ講座②

～問題行動とアセスメント～を受けて
(一部抜粋)

2011.6.4 吉田彩

老人は待たなしで流れていく時間のなかで確実に人生を降りていく。そこで起こる、避けがたい色々な苦しみ、葛藤がある。悪いことばかりではなく、「できること」を手放した時にもう一度現れる、根源的な人間らしさがある。何十年と積み重ねた人生の荒波に洗われて、複雑になったり時にシンプルになったりしながらできあがった、それぞれにいびつな形をしたところとからだがある。老人に向き合い、同じ時間を過ごし、その人のあれこれについて、「ああだろうか、こうだろうか」と問いかけ続ける。さまざまな視点で集めた情報のかけらや、勉強会で学んだ分類方法をヒントに、いびつな形の心身と、環境のギャップが生み出した問題を照らしだし、言葉や行動(介助)による対話を繰り返しながら、笑顔がでる、夜ぐっすり眠れるという「良い、かげん」の生活を探っていく。それが、「生活のなかの介護」ではないだろうか。

